



大澤 清 議員

質問
マイナンバーカード
について

答弁
交付率を上げるため全庁体制で取り
組んでいきたい

大澤議員の
質問動画



議員

市民にとってマイナンバーカードを取得するメリットは何か伺う。

市民生活部長

写真付きの公的身分証明書として使用できることや、コンビニエンスストアで毎日朝6時30分から夜11時まで各種証明書が取得できること、また健康保険証としても利用できることが挙げられる。ほかにも、新型コロナウイルスの接種証明書をスマートフォンで専用アプリで取得することや、確定申告、住所変更に関する一部届出、行政手続等を市役所に来ることなくオンラインで行うことも可能となる。

議員

マイナンバーカード普及に伴う課題について伺う。

市民生活部長

運転免許証などの本人確認書類を既にお持ちの方や手持ちのカードを増やしたくない方、個人情報情報の漏洩が心配などの理由が考えられる。またカードを取得するメリットや必要性を感じていないことも大きな理由と考える。申請方法が分からない方や、平日に市役所に

来るのが困難という方もいると考えている。

議員

課題に対する解決策を伺う。

市民生活部長

地域の公民館などでの出張申請受付を強化するとともに、取得することのメリットについて周知を進めていきたいと考える。

議員

関連してマイナポータルがあるが、子育てや介護などの行政手続の検索、オンラインでの申請など、ワンストップのサービス提供を受けられ、行政機関等が保有する自身の情報を確認することやお知らせ内容を確認することができる。身近なものでは、児童手当などの申請、保育施設等の利用申込み、住所変更、年金や医療、健康保険などの多種多様な電子申請や情報収集などが、想像以上にデジタル化と利便性が高いと考える。マイナポイントがもらえる今、ポイント、デメリットを理解していただき、検討の上、申し込んでいただければと考える。



堀越 道男 議員

質問
常総水害訴訟について
市の所見を伺う

答弁
係争中であり、同盟会会長としての
発言は控えさせていただく

堀越議員の
質問動画



議員

常総水害訴訟について、画期的な判決が出された。鬼怒川下流域期成同盟会の会長として常総水害訴訟について所見を伺う。

都市建設部長

常総水害訴訟については、現在係争中であり、本同盟会が関与できるものではない。

市長

係争中のため、同盟会会長としての発言は控えさせていただきたい。会長として7年前の水害の教訓、また被災された方の思いをしっかりと受けとめて、関係者と連携を図りながら流域の治水に取り組んでいきたい。

議員

流域の治水について責任を持つ立場だとおっしゃっていた。大東水害訴訟というのが、水害の国家賠償を起こしても、常に立ちはだかっている。整備中の堤防については、国は何らの瑕疵がないということ。これをひっくり返したのが多摩川水害訴訟で、整備された堤防が壊れたことで住民が勝訴したという判例がある。若宮戸

堤防は河川区域の指定を怠った国の責任が問われたもの。三坂の堤防破壊は大東水害訴訟の判決そのもので、原告は棄却された。国交省は堤防の整備は高低ではなく幅だという説を持ち出してきた。地域の方も、年中パトロールカーが走っていて、低いということに気がつかなかったのかという話をしていた。

鬼怒川プロジェクトでカバード

きる雨量は551mmまで、それ以上はオーバーフローする。絶対に壊れない堤防が求められると思うが市の考えは。

都市建設部長

千曲川が破壊して、一部区間をアーマーレベリーの堤防にしたという事例の認識がある。

市長

水害を経験した自治体との連携、国交省とのパネルディスカッションなどの経験を活かし、今後の強化に生かしていきたい。

市長

【その他の質問】
★新型コロナウイルス感染症対策について

用語 【アーマーレビー】 鎧をかぶった堤防を意味し、洪水が越えても破堤しにくい構造に強化した堤防のこと。